

様式第 2 号の 1－② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	大阪医療技術学園専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	医療秘書・情報学科	夜・通信	255 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	薬業科	夜・通信	195 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	臨床検査技師科	夜・通信	255 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	鍼灸美容学科	夜・通信	270 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	言語聴覚士学科 (昼間部 3 年制)	夜・通信	255 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	専攻科 医療秘書専攻 (医療秘書)	夜・通信	255 時間	$80 \times 1 = 80$ 時間	
	専攻科 医療秘書専攻 (診療情報管理士)	夜・通信	120 時間	$80 \times 1 = 80$ 時間	
	専攻科 医療秘書専攻 (医療 ICT)	夜・通信	120 時間	$80 \times 1 = 80$ 時間	
	専攻科 医療心理専攻	夜・通信	120 時間	$80 \times 1 = 80$ 時間	
教育・社会福祉専門課程	医療心理科	夜・通信	320 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ

https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyouhou/syllabus_jitsumu/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪医療技術学園専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ「役員・評議員名簿」 http://osaka.iikeigroup.net/pc/zaimu/2024/yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪大学大学院医学系研究科 教授 (2006.1.1～)	2020.8.25 ～ 2027.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会医療法人弘道会理事長 (2010.4.1～)	2020.8.25 ～ 2027.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林病院 院長 (2016.4.1～)	2020.8.25 ～ 2027.5.31	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪医療技術学園専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
①授業計画の作成過程 ・教務部長と学科長が中心となり、年間授業計画と時間割を策定 ・学校長・常務理事の承認後、教育指導要領・学生便覧の作成 ・授業計画に沿った講師の選定 ・講師会議を開催、講師会議の案内にシラバスデータのダウンロード方法記載 ・講師会議にてデータまたは印刷した授業計画を提出 ・授業開始までにチェックと修正 ②授業計画の公表に係る取り組み ・前年度1月まで：授業計画と時間割の策定 ・前年度2月～3月：教育指導要領・学生便覧への掲載準備・校正等 ・前年度3月：講師会議開催・授業計画の回収 ・当該年度4月：ホームページ掲載	
授業計画書の公表方法	ホームページ「シラバス」 https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyouhou/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・授業科目の学習成果の評価については、学則において、成績評価の項にて記載している。また、学生便覧に掲載し、学生に周知している。

<定期試験について>

- ・前期後期または当該科目の規定する時間数が開講されたのち、定期試験を実施する。
- ・当該科目の在校生・受講生は受験資格があるが、所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は科目の評価を受けることができない。
- ・欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内でも各学科目の出席時間数が3分の2(実習のみ5分の4)に満たない場合は、補習を受けなければ定期試験を受けることができない。

<試験方法>

- ・筆記試験、実技試験あるいはレポート提出などの方法がある。学科長と当該科目担当講師が相談により定める。

<成績評価について>

- ・試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。
- ・学習の評価は、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合して、優(80点以上)、良(70点～79点)、可(60点～69点)、不可(59点以下)とし、可以上の評価を与えられた者に、単位を認定する。
- ・学習の評価基準は以下のように定める。
 - ①講義科目：試験素点70%、出席評価点20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等)10%
 - ②実習科目：実習実技点70%、出席評価点20%、平常評価点(授業態度等)10%
- ・病気その他正当な理由により試験を欠席した場合、追試験を行う。
- ・定期試験において学習評価が不可(59点以下)の科目については、所定の届出を行ったのち、再試験を行う。出席不足により受験できなかった者は、所定の補習を終了しなければ再試験を受験することはできない。
- ・また、臨床検査技師科、鍼灸美容学科、言語聴覚士学科については別途規定に定める。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。		
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)		
海外の大学等に留学する場合など、必要に応じてGPA制度による評価を行う。		
GPAは1単位あたりの平均値を意味し、その算出方法は以下の通りである。		
①優(80点以上)、良(70点～79点)、可(60点～69点)、不可(59点以下)の4段階評価をA・B・C・D・Eの5段階評価に置き換え、その評価をGP(Grade Point)の4～0までの点数に置き換える。		
②置き換えたGPに履修した科目の各単位数を掛け合わせ、その掛けた数の総和GPT(Grade Point Total)を履修科目の各単位数の合計で割る。		
【5段階評価】		
評点	評語	Grade Point
90点以上	A	4
80点～79点	B	3
70点～69点	C	2
60点～59点	D	1
59点以下	F	0
<計算例>		
各授業科目で得たGPと当該授業科目の単位を乗じた合計が40であり、各授業科目の総単位数が20の場合、GPAは2.00となる。		
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ「試験規定」 https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyuhou/	
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。		
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)		
・学位授与方針：高等職業人教育を通じて社会に貢献することをミッションとし、業界の即戦力となる人材の育成を目的としている。その実現のため、建学の理念である実学教育、人間教育、国際教育を行い、それぞれの能力を身につけた者に対して専門士の称号を授与(卒業を認定)する。		
①医療・福祉・心理・美容業界に必要とされる倫理観・知識・技術・資格を身につけ主体的かつ創造的に計画を立て実行する。		
②医療・福祉・心理・美容業界の職業人・業界人として社会に貢献することができる。		
③価値観の違いを尊重し、他者への関心や理解を備え、医療・福祉・心理・美容の業界で多職種と連携をとり、協働することができる。		
④技術の進歩、社会の変化に対応し、自己研鑽を続けることができる。		
・以上の学位授与方針を、ホームページ、教育指導要領、学生便覧、募集要項において公表している。		
・所定の授業日数の3分の2以上出席し、所定科目を全て合格していることが必要である。		
・卒業を判定するため、卒業判定委員会を設け、卒業判定会議を行う。卒業判定会議において認定された者が卒業及び専門士の称号が授与される。		
・臨床検査技師科、鍼灸美容学科、言語聴覚士学科については、別途規定を定め、卒業判定会議において総合的に判定する。		
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ「学生規定」・学科別「教育評価規定」 https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyuhou/	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪医療技術学園専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2024/04taisyaku.html
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2024/01shikin.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2024/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2024/jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2024/06kansa.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	医療秘書・情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 280 <u>単位時間</u> ／単位	1, 860 単位時間 ／単位	1, 125 単位時間 ／単位	210 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			3, 195 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		69 人	0 人	3 人	24 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	19 人 (42.2%)	26 人 (57.8%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）大阪公立大学医学部附属病院、社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 千里病院、医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院 他			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））医療秘書技能検定 2 級：受験者 45 名／合格者 40 名、 医事コンピュータ技能検定 2 級：受験者 45 名／合格者 43 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	6 人	7.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気、家庭の事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	薬業科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 845 <u>単位時間</u> ／単位	1, 500 単位時間 ／単位	1, 170 単位時間 ／単位	1, 140 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			3, 810 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		71 人	0 人	3 人	20 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年度の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	35人 (94.6%)	2人 (5.4%)
（主な就職、業界等）ロート製薬株式会社、扶桑薬品工業株式会社、株式会社サンドラッグ、株式会社キリン堂、株式会社スギ薬局、株式会社アカカベ 他			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））登録販売者：受験者15名／合格者12名、危険物取扱者乙種：受験者20名／合格者12名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	5人	6.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気、家庭の事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	臨床検査技師科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 910 <u>単位時間</u> ／単位	1, 950 単位時間 ／単位	270 単位時間 ／単位	690 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2, 910 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		228 人	0 人	9 人	32 人	41 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、成績評価基準については臨床検査技師科教育評価規定に則り、講義時間数の 90%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定・臨床検査技師科教育評価規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 85%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
58 人 (100%)	7 人 (12.1%)	50 人 (86.2%)	1 人 (1.7%)
（主な就職、業界等）独立行政法人国立病院機構 近畿グループ、地方独立行政法人奈良県立病院機構、社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院 他			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））臨床検査技師：受験者 58 名／合格者 49 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
228 人	15 人	6.6%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更、病気、家庭の事情 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 120 <u>単位時間</u> ／単位	1, 860 単位時間 ／単位	660 単位時間 ／単位	930 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			3, 450 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		86 人	0 人	7 人	25 人	32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、成績評価基準については鍼灸美容学科教育評価規定に則り、講義時間数の 80%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定・鍼灸美容学科教育評価規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 80%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	4 人 (19.0%)	16 人 (76.2%)	1 人 (4.8%)
（主な就職、業界等）美容鍼灸サロン YURARA、六花鍼灸整骨院、HALU 鍼灸整骨院、株式会社爽健グローバル、株式会社 Sakura Street 他			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師：受験者 21 名／合格者 16 名、きゅう師：受験者 21 名／合格者 15 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	3 人	3.8%
（中途退学の主な理由） 学力不振、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚士学科 (昼間部 3 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 970 <u>単位時間</u> ／単位	1, 770 単位時間 ／単位	660 単位時間 ／単位	540 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2, 970 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		104 人	0 人	5 人	40 人	45 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年度の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、成績評価基準については言語聴覚士学科教育評価規定に則り、講義時間数の85%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定・言語聴覚士学科教育評価規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の85%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	18人 (81.8%)	4人 (18.2%)
（主な就職、業界等） 地方独立行政法人りんくう総合医療センター、社会医療法人協和会 加納総合病院、医療法人医誠会 医誠会国際総合病院 他			
（就職指導内容） キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士：受験者22名／合格者19名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95人	10人	10.5%
（中途退学の主な理由） 学力不振、進路変更、病気、家庭の事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	専攻科 医療秘書専攻 (医療秘書)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1, 185 <u>単位時間</u> ／単位	525 単位時間 ／単位	510 単位時間 ／単位	180 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1, 215 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
20 人の内数		0 人	0 人	4 人の内数	10 人の内数		14 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点 20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 3 分の 2 以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 大学病院、総合病院、調剤薬局、クリニック 等			
(就職指導内容) キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 診療報酬請求事務能力認定試験 医療秘書技能検定 2 級 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) ※対象者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	専攻科 医療秘書専攻 (診療情報管理士)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	870 <u>単位時間</u> ／単位	630 単位時間 ／単位	165 単位時間 ／単位	90 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			885 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
20 人の内数		11 人	0 人	4 人の内数	10 人の内数		14 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点 20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 3 分の 2 以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院、社会医療法人栄公会 佐野記念病院、医療法人昭圭会 南芦屋浜病院 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））診療情報管理士：受験者 5 名／合格者 5 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専攻科 医療秘書専攻 (医療 ICT)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	990 <u>単位時間</u> ／単位	750 単位時間 ／単位	165 単位時間 ／単位	90 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			885 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人の内数		7 人	0 人	4 人の内数	10 人の内数	14 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）医療法人協和会、キヤノン ITS メディカル株式会社、株式会社エスエスサポート 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））診療情報管理士：受験者5名／合格者4名、医療情報技師：3名取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 昨年度は退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専攻科 医療心理専攻				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	810 単位時間／単位	0 単位時間 ／単位	810 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			810 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人の内数		4 人	0 人	4 人の内数	10 人の内数	14 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点 20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 3 分の 2 以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）社会福祉法人大潤会グループ、社会福祉法人南湖会、医療法人協和会 ウエルハウス川西 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））学士（学術）：6 名取得、産業カウンセラー：受験者 3 名／合格者 1 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 昨年度は退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	医療心理科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,600 単位時間／単位	3,300 単位時間 ／単位	690 単位時間 ／単位	500 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			4,490 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
120 人		103 人	0 人	3 人	22 人		25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点 20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 3 分の 2 以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100%)	8 人 (28.6%)	19 人 (67.8%)	1 人 (3.6%)
（主な就職、業界等）医療法人和泉会 和泉丘病院、社会福祉法人阪神福祉事業団、株式会社 T'S コーポレーション 他			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う			
（主な学修成果（資格・検定等））メンタルヘルスマネジメントⅢ種：受験者 27 名／合格者 21 名、色彩福祉検定 3 級：受験者 23 名／合格者 20 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	13 人	11.9%
（中途退学の主な理由） 学力不振、進路変更、病気、家庭の事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書・情報学科	100,000 円	900,000 円	80,000 円	教育教材演習費
薬業科	100,000 円	900,000 円	90,000 円	教育教材演習費
臨床検査技師科	300,000 円	1,000,000 円	295,000 円	実習費 教育教材演習費
鍼灸美容学科	200,000 円	1,000,000 円	385,000 円	実習費、設備費 教育教材演習費
言語聴覚士学科 (昼間部 3 年制)	200,000 円	1,000,000 円	380,000 円	実習費、設備費 教育教材演習費
専攻科	100,000 円	450,000 円	50,000 円	教育教材演習費
医療心理科	100,000 円	900,000 円	85,000 円	教育教材演習費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyohou/ 「自己点検自己評価と学校関係者評価」
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校法人大阪滋慶学園として学校関係者評価委員会規程を定め実施する。評価委員会は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて実施する自己点検・自己評価に対する客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを基本方針とする。委員会には、学校長や教務部長・学科長などとともに関連業界・地域・高等学校関係者・卒業生・保護者などが委員として参加している。また、委員会でいただいた評価や意見については、今年度または次年度に改善が図れるよう教務部長と各学科長が中心となって取り組んでいく。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般財団法人住友病院 医事室室長	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
株式会社協和商事 取締役社長	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
Acupuncture BISHIN 代表	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
日本赤十字社 大阪赤十字病院 臨床 検査科部 技師長	令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
奈良県言語聴覚士会 理事	平成 28 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
NPO法人 東成精神障害者を支える 会 理事長	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
大阪市北区堀川連合振興町会 会長	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	地域
こんだ直人教育研究所代表 (元平野 高校教頭)	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	高等学校
株式会社育星会	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	卒業生
社会福祉法人釜ヶ崎ストロームの家	平成 25 年 10 月 18 日 ～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	卒業生
臨床検査技師科保護者	令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 (任期更新)	PTA
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyouhou/ 「自己点検自己評価と学校関係者評価」		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/
--